

2014.6.1

第3号

広報



# せきかわ連合



笹ヶ峰ダム（乙見湖）と頸城連峰の眺望（妙高市杉野沢）

## 笹ヶ峰ダム満水に向け万全！

～今冬の豪雪により水量豊富～

笹ヶ峰ダムは高田平野の農地を潤す水源として、1983年（昭和53年）に妙高市杉野沢に完成したロックフィルダムで、かんがい期（4/25～9/10）には農業用水として使用され、また通年、東北電力㈱の水力発電の水源として年間を通して活用されています。

### 笹ヶ峰ダム諸元

有効貯水量	920万 <sup>m</sup> ³
計画最高貯水位	1220.30m
堤高	48.6m
堤長	317.6m
最大取水量	11.559 <sup>m</sup> ³/s

※施設設備の老朽化により改修が検討されています。（詳細はP4）

## Contents もくじ

通常議員総会開催	2
事業計画・決算・予算	3
国営かんがい排水事業 「関川用水地区」の促進 これまでの経過	4

### 連合の概要

受益面積	5,570.36ha
関川水系土地改良区	4,961.26ha
和田土地改良区	367.00ha
水上土地改良区	242.10ha

●発行：関川地区土地改良区連合 ●責任者：理事長 瀧澤 純一

〒943-0185 新潟県上越市大字長面14番地1 TEL 025-524-8800 FAX 025-522-5724 URL : <http://www.sekikawasuikei.com/SekirenWeb/index.html> E-mail : [sekiren@valley.ne.jp](mailto:sekiren@valley.ne.jp)

# 関川地区土地改良区連合第43回通常議員総会開催

## 提出議案14件 原案どおり承認・議決！

3月26日、関川水系土地改良区会議室において、通常議員総会が開催されました。

開会にあたり、瀧澤理事長のあいさつ後、藤田典平議員（関川水系土地改良区理事）が議長に選任され、平成24年度決算・平成26年度予算など14件が上程され、慎重審議の結果、原案どおり全会一致で承認・議決されました。

### 理事長あいさつ要旨



関川地区土地改良区連合  
理事長  
瀧澤 純一

### はじめに

今冬の積雪状態は、平野部では昨年と違い、大雪にはならず安堵いたしました。しかし、笹ヶ峰ダム付近においては、3月26日現在積雪265cmとなっており、十分な積雪がありますので、貯水に関しては問題なくダムを満水にできるので心配ないと思います。



笹ヶ峰ダムの積雪状況

数年来の懸案事項でありました国営事業ですが、当初もう1年調査設計に時間を要するところ、国・県のご尽力によりまして26年度中に着工という運びになりました。

これもひとえに皆様方のご尽力の賜物であると、感謝申し上げる次第でございます。2月12日～14日にかけて地元説明会を開催し、その後、公告縦覧を経て、2月25日より同意徴集を開始しました。昨日現在の同意率が96.6%となっており、当初の目標であった95%を超え喜んでおります。1ヶ月足らずでここまでできたということは、関係者の熱意を感じているところです。

## 国営かんがい排水事業 「関川用水地区」の早期着手

3土地改良区（和田土地改良区・水上土地改良区・関川水系土地改良区）で関川連合を組織して、ダム管理等を行っておりますが、施設の老朽化が著しく、維持管理の地元負担が増加傾向にあるため、一刻も早く国営関川用水地区の事業着手を望んでいるところです。

本事業では、ダム本体や観測機器の老朽化・劣化対策のほか、幹線水路の補修や安全施設の修理設置を要望すると同時に小水力発電所を建設し、その収益を土地改良区の維持管理に充当し、農家負担の軽減を目指してまいります。

なお、同意徴集をもって新潟県知事経由にて、農林水産大臣に事業施行申請をすることになりますが、初年度の事業費が3億円計上されています。

工期が10年で事業費130億円が計上



議事進行する藤田典平議長  
(関川水系土地改良区)

されておりませんが、採択の都合上、1期、2期に分けて実施されます。平成26年度から平成35年度までの10ヶ年の工期となっておりますが、小水力発電所建設については、売電固定価格買い取り制度の申請締め切りが迫っており、今年度中に事業の着工が進めば、売電収入により土地改良区の維持管理費軽減に大きく寄与するものと思っております。

今後についても、継続して農家負担の軽減になるよう東北電力、新潟県に対して要望活動を行ってまいります。

本日の提案議題は、平成24年度決算、平成26年度事業計画、予算が主な議題となります。

承認案件が4件、議決案件が8件、報告案件が2件の計14件となっておりますが、慎重審議の上、承認または議決下さいますようお願い申し上げます。



議案を審議する議員

# 平成26年度事業計画

## 1 国営造成施設の良好な管理

① 国有土地改良財産との土地境界の確認・承認申請手続き。  
 ② 第三者が国営造成施設を改築または他の目的で使用する場合の他目的使用等の管理と承認申請手続き。

## 2 許可取水量範囲内で取水調整による適正な取水管理

① 関係土地改良区と調整を図り、公平な取水配分と用水量の確保。  
 ② 笹ヶ峰ダム、野尻湖のかんがい期利水運用は、特に渇水時の計画的放流に努め、用水量を確保。  
 ③ 許可取水量の課題となる適正な取水管理については、北陸農政局信濃川水系土地改良調査管理事務所が調査を進める関川用水地区の用水計画と合わせ、必要用水量の確保に向け協議を行う。

## 3 笹ヶ峰ダム操作業務の対応

新潟県からのダム操作等業務受託は、ダム施設の保全管理に努め、ダム貯放流管理や洪水時の対応に万全を期し、渇水期の用水量の安定供給と災害の未然防止に努める。

## 4 国営造成施設管理体制整備

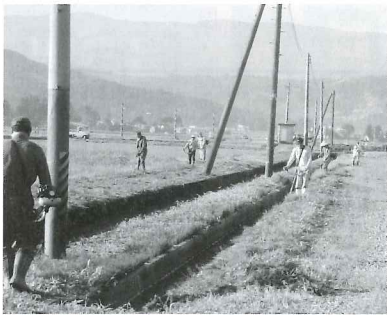
ダム操作体制の課題である非かんがい期の操作体制及び、操作規程の見直しを各関係機関と協議を進める。

## 5 関川用水地区の事業推進と組合員への周知

平成23年度より国の調査地区として地区調査に着手されましたが、笹ヶ峰ダム管理機器が老朽化のため使用不能となり部品の交換などを余儀なくされている現状から、早期事業着手に向け要望活動を行った結果1年早まり、平成26年度新規採択となった。

## 今後の「国営土地改良事業関川用水地区推進協議会」と連携し、事業促進を図る。

また、小水力発電事業に併せた関川地区土地改良区連合の組織体制整備、複式簿記会計導入等準備を進める。



管理協定に基づき上江幹線水路沿線の草刈作業を行う下中町内会の方々（上越市三和区下中地内）

# 平成24年度一般会計決算・平成26年度一般会計予算概要

3月26日の通常議員総会において、承認・議決された決算・予算の概要は次のとおりです。

## 会計項目の説明

### 収入

**経常賦課金**  
連合の運営や維持管理に充てるため、各土地改良区より受益面積割で負担してもらうお金

**補助金**  
事業のために国・県・市から支給されるお金

**使用料**  
用水路などを農業用以外の目的で使用する人が負担するお金

**受託事業収入**  
事業などの関係で、連合が新潟県より仕事を受けることによって、その対価として入ってくるお金

**繰越金**  
前年度の会計で余って繰り越したお金

**雑収入**  
雑収入（預金利子など）

### 支出

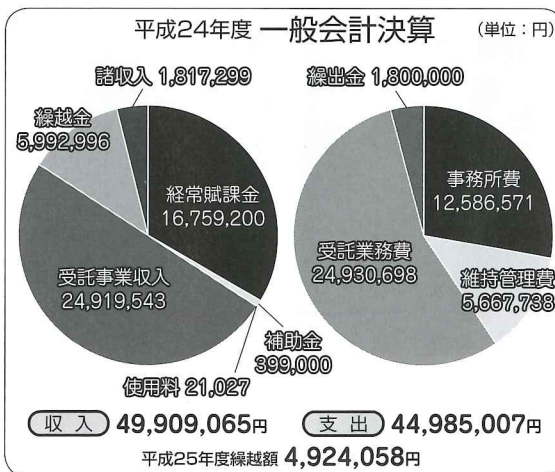
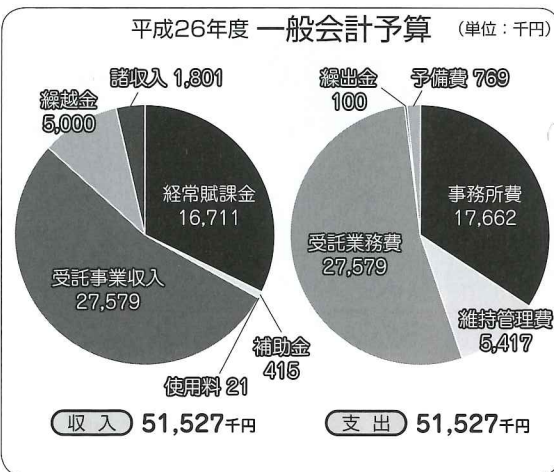
**事務所費**  
連合が行う基本的な業務にかかるお金

**維持管理費**  
農業用施設（水路・頭首工など）の維持管理にかかるお金

**受託業務費**  
笹ヶ峰ダムの操作や事業推進活動などの受託を受けた業務にかかるお金

**繰出金**  
連合が将来のために積み立てている会計に繰り出すお金

**予備費**  
緊急かつ予想していなかった経費に充てるための財源にする予備的なお金



## 「国営かんがい排水事業 関川用水地区」の着工

国営関川農業水利事業（昭和43年度～昭和58年度）により整備された農業水利施設は、事業完了後30年程度が経過しており、笹ヶ峰ダムや幹線用水路のコンクリート構造物の欠損や鋼構造物の腐食等が発生し、また、水管理施設の劣化や旧式化により農業用水の安定供給に支障をきたすとともに、維持管理費に多大な費用を要しています。

この課題を解決するため、平成21年度から農林水産省が調査を開始し、コンクリート構造物の補修改修、機械設備や水管理施設の改修、併せて小水力発電設備の新設等の計画を取りまとめて、平成25年度に事業計画書（案）を作成しました。

平成26年1月から法手続きを開始し、平成26年2月からは同意徴集を始め、4月上旬には約97%の同意を得ています。



笹ヶ峰ダム監視操作室の老朽化による故障

今後は事業計画の確定に向け、北陸農政局・新潟県・上越市・妙高市とも連携して、平成26年度早期の事業着工を目指しています。

### 「国営関川水土地改良事業の同意取りまとめに 協力ありがとうございました。」

2月下旬から4月上旬にかけて非常に短期間の間に95%以上の目標でありましたが97%の同意をいただきました。

これもひとえに関係者皆様方のご協力の賜物と感謝申し上げます。

関係土地改良区では、事前積み立て等により直接の受益者負担は致しません。

#### 事業概要

事業名 国営かんがい排水事業

事業主体 農林水産省

#### 事業期間

平成26年度～平成35年度

#### 概算事業費

130億円

#### 事業内容

- 老朽化対策
- ① 笹ヶ峰ダム施設の改修
  - ② 水管理施設の改修
  - ③ 幹線用水路の改修
  - ④ 小水力発電施設の新設

#### 「平成26年度地区調査の内容」

- ① 小水力発電設備（水車、発電機等の機械設備）の工事発注
- ② 笹ヶ峰ダム取水設備等の詳細設計実施



取水ゲート扉体の腐食による劣化



下流管理用道路トンネルの凍結による劣化



余水吐ゲートのコンクリートひび割れによる劣化

#### 「これまでの経緯」

平成21年10月に、関川地域の国営土地改良事業の早期実現に向け、上越市・妙高市・JAえちご上越、関川地区土地改良区連合、和田土地改良区、水土地改良区、関川水系土地改良区による事業推進を図るための協議会を設立し、国及び新潟県へ要望活動を行ってきました。

その結果、平成23年度から国の調査が行われ、平成25年度には事業計画概要書（案）が作成されました。国では平成26年9月に事業計画を確定し、10月には事業着手する予定です。

#### 編集後記

国営関川水土地改良事業の同意取りまとめにご協力いただきまして感謝申し上げます。

さて、関川地区土地改良区連合広報第3号の内容は、いかがでしたでしょうか。

皆様にわかりやすい内容になっていますでしょうか。

関川地区土地改良区連合では、かんがい用水の確保のため、ダム管理業務などに励んでおります。

今後も広報を通じ、関係受益者の皆様への情報を発信していきたいと考えております。

皆様のご意見・ご要望・疑問点などがございましたら、表紙に記載しております関川地区土地改良区連合までご連絡いただくと幸いです。